

応援奨学生に関するアンケート結果（平成29年度）

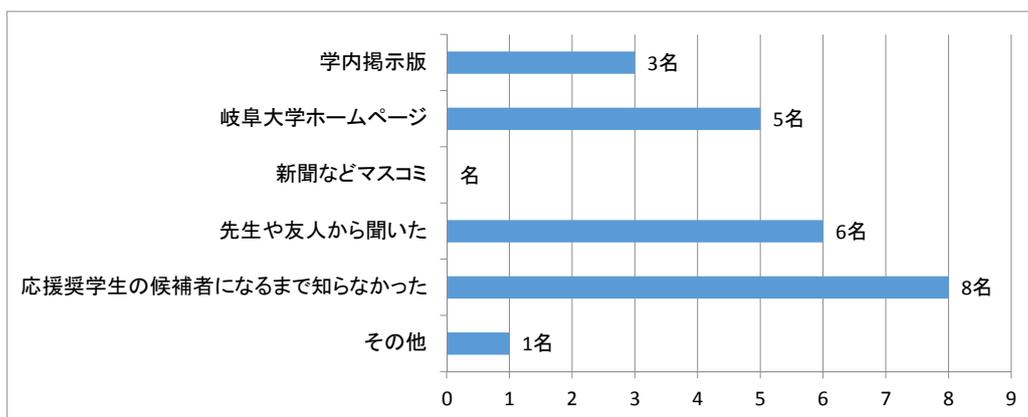
「応援奨学生」制度は、平成22年度から学生支援事業として、人物及び学業成績において優れ、他の学生の模範となるような学生に奨学金を支給することで、学業を応援し、優れた人材を育成することを目的に開始されました。

今回は平成29年度に応援奨学生として奨学金を受給された24名の方を対象に、今後の参考とするために実施したアンケート結果です。

回答者数23名

1 「岐阜大学基金」の広報についてお伺いします。

「岐阜大学基金」についてはどのような形でお知りになりましたか？

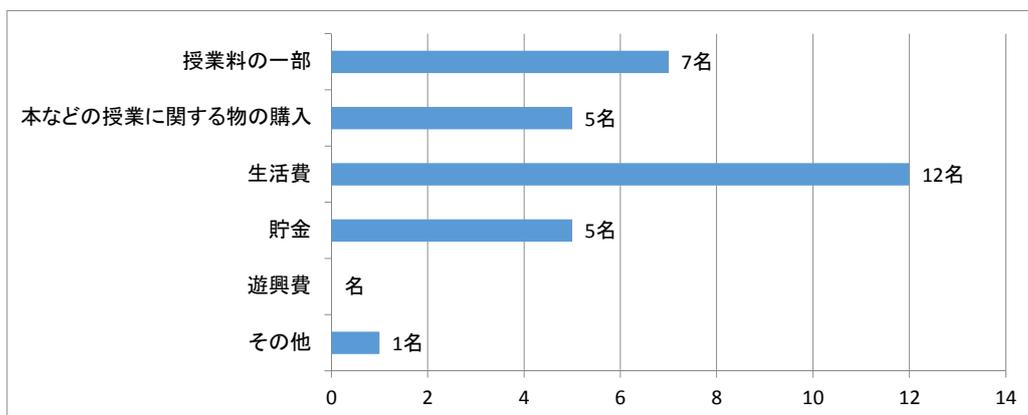


こういった告知形式を取れば、学生への認知を広めることができると思われますか？

- メールで告知する。
- AIMSで告知を行う。
- 授業・ゼミで告知する。
- 学部の掲示板上にポスターにして掲示する。
- 前期・後期のガイダンスで告知する。
- 英語の案内をする。

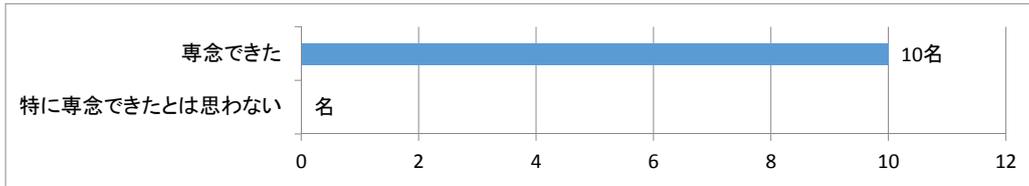
2 奨学金の使途や学業への影響についてお伺いします。

(1) 主な使途について



- その他 交通費。パソコンのソフトウェア。

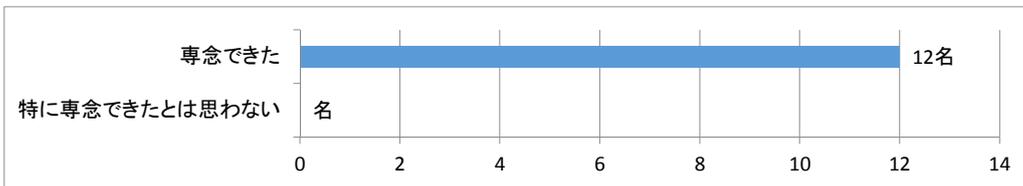
(2) 授業料や授業に関する物の購入に使用することで、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

- ・ 卒論執筆の際に必要な論文や本を購入することができたため、研究の助けとなった。
- ・ プログラミングの本を購入することで自身のスキルアップにつながった。
- ・ アルバイトの量を減らし研究することができた。
- ・ 専門書、参考書の購入を積極的にでき、知識をより増やすことができた。
- ・ 普段購入しない教材に費用をまわすことができた。

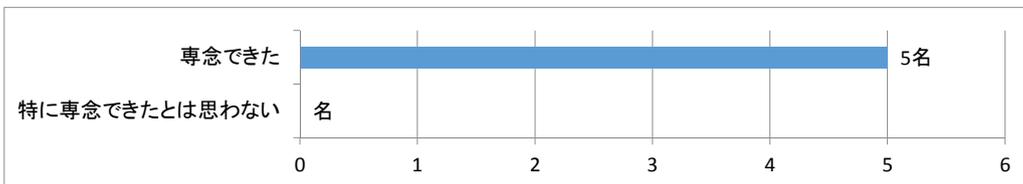
(3) 生活費に使用することで、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

- ・ アルバイトを以前より減らすことができ、勉学に充てる時間を得た。
- ・ 研究に専念することができた。
- ・ 生活費をあまり心配することなく、私の研究に集中することができました。
- ・ アルバイトをほとんどしなくてすむようになり、勉学や研究の時間に充てることができた。

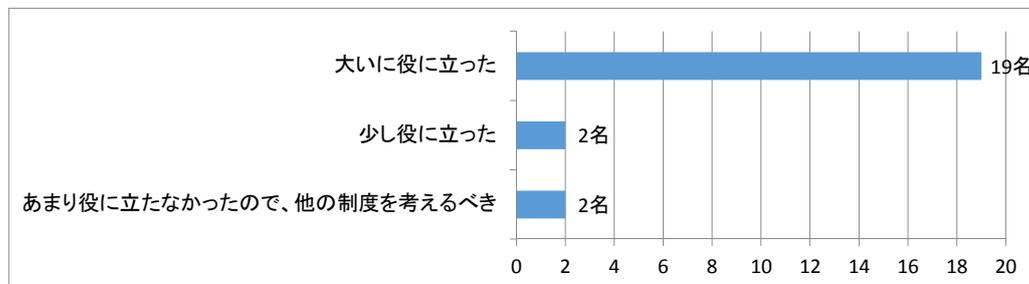
(4) 学業以外の用途に使用されましたが、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

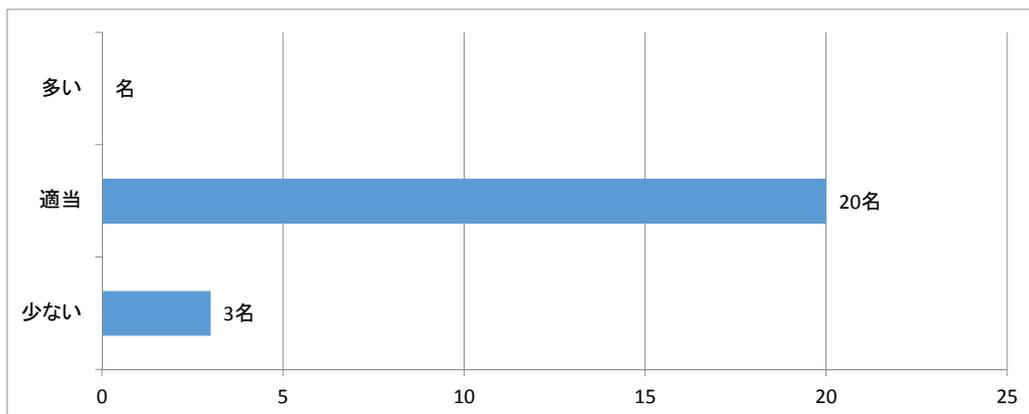
- ・ アルバイトの時間を学業に充てることができ、国家試験の勉強ができた。
- ・ 学会に積極的に参加したり、セミナーや専攻に係わりの深いイベントに参加することができた。

3 奨学金の給付は、大学生活を有意義に過ごすために役立ったと思いますか？



4 奨学金の給付額についてお伺いします。

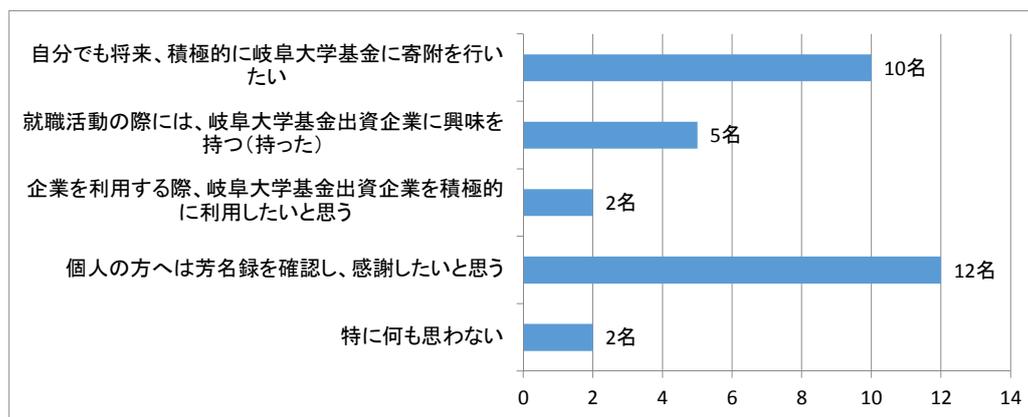
学部学生	月額 30,000円
大学院研究科修士課程（博士前期課程、教職大学院）	月額 30,000円
大学院研究科博士課程（博士後期課程）	月額 50,000円



少ないと回答した内訳（具体的な金額）

5万円/月	1名
6万円/月	1名
10万円/月	1名

5 「岐阜大学基金」は多くの団体、個人、本学の卒業生や教職員からの寄附金で成り立っています。このことについてどう思われますか？（複数回答可）



6 応援奨学生の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。(自由記述)

・応援奨学生に選出していただけたことが、自信に繋がりと、それまで以上に勉学に意欲的に励むきっかけとなりました。寄附によって支えられると思うと、岐阜大学生として胸を張れるような姿を保ちたいと強く思います。今後も精進してまいります。本当にありがとうございました。

・自分が対象となるとは思っていなかったため、驚きました。給付を受ける前は、自分の将来のためだけに勉強をしていたのですが、給付を受けて以降は、常に支えていただいているという意識のもと、生活を送ることができました。深く感謝いたします。

・給付金をいただいたことで、自分の努力は正しかったのだという自信につながっただけではなく、親の負担を多めに軽減することになった。このことに感謝の意を表したい。私は卒業後進学するので、今後もまた多大な金銭的負担を強いられる結果となるが、給付をいただいたことが、卒業後の自分の進路の助けになった。本当にありがとうございました。

・本奨学金のおかげで、さらに学生生活を有益なものにすることができました。今後とも奨学生であったことに恥じぬよう頑張っていきます。ありがとうございました。

・アルバイトをせずに生活できたため、その時間を学業、研究活動に費やすことができ、今の成果や成績を出すことができました。心より感謝しています。

・本当にありがとうございました。今まではバイトばかりで余裕がありませんでしたが、給付を受けることによって、生活に余裕ができ、様々なことに挑戦することができました。

・応援奨学生の給付を受けたことで、研究に時間を多めに充てることができ、自身のスキルアップにつながりました。ありがとうございました。

・非常に充実した学生生活を送ることができ感謝しています。

・研究室に入ったことによって、アルバイト時間を減らさなければいけない、でも、交通費も稼がなければならぬと困っている時に奨学金の採用の連絡を頂きました。通学時間が長いので、アルバイトと研究の両方を頑張ろうと思うとどうしても体力が持たず、家に着いてからすぐ寝ることしかできませんでした。しかし、給付を受けたことによって、アルバイトの時間を減らすことができ、自分の時間を持つことができました。

・私の家庭は経済的に余裕がないため、応援奨学生に選出されたことにより金銭的・精神的な面でとても助かりました。また、基金への寄附を通じて私たちを支えてくださる方々がいらっしゃるのだということを実感しました。1年間ありがとうございました。

・大学院最後の1年間、自分で生活費をまかないながら研究を進めていくことは大変でしたが、応援奨学金制度があったおかげで、心と時間にゆとりを持てたことは非常に有難く、感謝しています。4月からは教員として働きますが、この2年間で学んだことを糧に努力を怠らず頑張ろうと思います。本当にありがとうございました。

・私は岐阜大学が奨学金を授与してくれてとても感謝しています。私は私の研究をサポートするための日本語の本を買うことができました。岐阜大学に感謝しています。

・学費を考えてばかりの生活が楽になりました。このような制度を立ち上げてくださった方々に心よりお礼申し上げます。私も必ず将来同じような事をして、苦しんでいる学生の力になりたいと思います。

・応援奨学生に選ばれ、奨学金を頂くのだから、人一倍勉学に取り組もうと努力を重ねてきました。おかげさまで学会(国内・国際)に出席する資金にも困らず、心置きなく研究に集中することができました。ありがとうございました。

・給付を受けることで、周りの人に支えられていることを考えると、学業に熱心に取り組み、実績を残していこうという気持ちが高まると思います。

・応援奨学生の給付がなければ研究を続けることができなかったと思います。本当に感謝しています。